

ワークショップ「グラフェンの材料開発に向けた基礎と応用」

主催 触媒学会「表面化学と触媒設計の融合研究会」、筑波大学プレ戦略イニシアティブ事業（第5回 つくばグリーンイノベーションフォーラム）の共催

協賛 日本表面科学会、日本化学会、筑波大学学際物質科学研究センター

趣旨

グラフェンはその幾何学形状とそれに起因する特異な電子状態から、低次元ナノ科学の分野における興味深い研究対象であるのみならず、次世代の機能性デバイス材料および触媒材料の候補としても大いに注目を集めています。グラフェンのデバイス・触媒応用には、グラフェンの合成、キャラクタリゼーション、基礎物性に関する知見の蓄積が必須であります。本研究会ではグラフェンのデバイス・触媒応用に向けた材料開発について、合成から応用まで、本領域を代表する講師の方に、最新の成果に基づいた現状の提示と展望を講演していただきます。

日時： 2012年8月7日(火) 10:00-17:00

場所： 筑波大学 総合研究B棟 0110公開講義室

申込方法：URL (<http://www.tsukuba-greeninovn.org/activity/forum/kouen.html>)

からお申し込みください

申込締切：~~8月3日(金)~~

連絡先：~~筑波大 岡田晋~~ E-mail: green-f@comas.frsc.tsukuba.ac.jp

世話人：筑波大 中村潤児・岡田晋、大阪大 福井賢一

参加費：無料（懇親会：3,000円）

プログラム

10:00～10:50 榎 敏明(東工大)「ナノグラフェンの端：エッジ状態と電子干渉」

10:50～11:30 寺倉清之(東工大)「グラフェンのエッジおよび構造欠陥と窒素ドーピング」

11:30～12:00 中村潤児(筑波大)「グラフェンの触媒化学への応用」

12:00～13:30 昼休み

13:30～14:10 吾郷浩樹(九大)「グラフェンのCVD成長-成長メカニズムと単結晶化に向けて-」

14:10～14:50 末永和知(産総研)「電子顕微鏡による低次元物質の格子欠陥評価」

14:50～15:10 休息

15:10～15:50 白石誠司(阪大)「グラフェンへの電氣的・動力学的スピン注入」

15:50～16:30 長汐晃輔(東大)「金属電極直下のグラフェンは本当にグラフェンか？」

16:30～17:00 岡田 晋(筑波大)「グラフェン複合構造の基礎物性」

17:30～19:30: 懇親会（会費 3,000円）